

浅口市立寄島小学校 令和6年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和6年10月18日公表

全国学力・学習状況調査の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科では、学習した漢字を正しく読んだり、書いたりすることができる。 ○算数科では、問題の内容を正しく読み取り、基になる量を正確に求めることができる。さらに、それを活用した応用問題も解くことができる。 <課題> ▲問題文の内容を熟読せずに取り組む傾向が見られる。そのことにより、問題を正確に読み取ることができなかつたり、違いに気付かなかつたりしている。 ▲算数科では、小数の割り算の計算が苦手である。	<成果> ○自己肯定感が高く、将来の夢や目標をもっている児童が多い。 ○国語の授業の理解力が高い。 ○地域の行事に積極的に参加し、地域や社会をよくするために何かしたいと思っている児童が多い。 <課題> ▲家庭学習の目標時間の70分に取り組んでいる児童の割合は高いが取り組む内容に課題がある。 ▲ICTを活用すると自分の考えを表現することができるが、全体場で発表することには抵抗がある。

岡山県学力・学習状況調査の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科では、話し合いの内容の要旨を正確に聞き取ることができる。昨年度に引き続き、学習した漢字を正しく読んだり、書いたりすることがよくできる。 ○算数科では、全国や県の平均を上回る学年があった。その他の学年も昨年度より正答率が上がった。「数と計算」の領域は、どの学年もよくできていた。 <課題> ▲国語科では、内容の中心を明確にし、文章の構成を考えて書き表すことが難しい。 ▲国語科、算数科共に、学年が上がり内容が難しくなると、全体的な正答率が下がっている。	<成果> ○学校が楽しいと思っている児童が多い。 ○自己肯定感が高く、決めたことを最後までやり遂げるための努力をしていると感じている児童が多い。 ○多くの児童が自分たちの住んでいる地域に愛着がある。 <課題> ▲宿題以外の学習に積極的に取り組む割合が少ない。また、休日に学習を行っている割合も少なかった。 ▲1日2時間以上、普段からメディアを使用している割合が学年が上がるにつれて高くなっている。

改 善 策

学 校 で の 取 組

- ① 授業づくり
 - ・「わかった、できた」の授業の実現 ・思考の場面を設定した授業づくり ・教材研究ノートの作成
 - ・学年ミーティングの時間の確保 ・授業の質の向上 ・ICTの積極的な活用
- ② 基礎学力定着のための取組
 - ・「朝の学習」の時間の活用 ・練習問題に繰り返し取り組む ・学力テストの分析
 - ・結果を基にした研修 ・確かな学力定着のための取組を学校全体で考える ・「がんばりノート」の紹介
- ③ 人間関係づくり
 - ・年間3回の教育相談 ・ケース会や連絡会などの実施
 - ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、登校支援員などとの連携
- ④ 家庭学習の定着
 - ・「家庭学習の手引き」の活用 ・「チャレンジ寄島」の期間を生かした家庭学習の充実
 - ・家庭学習の見直しの実施

寄 島 学 園 で の 取 組

- ・「チャレンジ寄島学園」を長期休業明けに保・こ・小・中で実施し、望ましい生活習慣の定着と家庭学習の習慣の定着に取り組む。
- ・小中で統一して作成した「家庭学習の手引き」を活用し、望ましい学習習慣の定着を図る。
- ・学校運営協議会が主体となって漢字検定を年2回実施し、積極的な参加を促す。
- ・課題になっている「読解力」の育成に向けて、朝の学習の時間などを活用し、繰り返し課題に取り組む。

家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

- ・「家庭学習の手引き」を活用し、望ましい家庭学習の習慣が定着するように声を掛けてください。
- ・普段から規則正しい生活習慣が身に付くようにサポートをお願いします。
- ・ゲーム機器やスマートフォンなどの情報端末機器の使い方のきまりを家庭で話し合い、ルールを決めてください。